1．現在までの取組の概要紹介

・Step1（3 年生）
「全身がわかる歯科医師がなぜ必要か？」授業紹介

・Step2（4 年生）
「口腔乾燥を訴える患者に対する医療面接・口腔乾燥症の症状と診断」授業紹介

現在までの取組の概要紹介

超高齢社会に対応できる歯科医師の養成

現在までの取組の概要紹介

平成26年 11月20日

第6回 ITを活用した教育センターのワークショップ

大学間連携共同教育推進事業

超高齢社会に対応できる歯科医師の養成

～北海道医療大学、岩手医科大学、昭和大学と歯科医師会の協働事業～

取組概要

超高齢社会の到来により、歯科患者の基礎疾患有病率・服薬率の増加

- 全身と関連づけて口腔を診れる歯科医師
- 基礎疾患を有する患者の歯科治療を安全に行える歯科医師

超高齢社会に必要とされる歯科医師像の把握とその養成



ITを活用した教育センター（3大学と歯科医師会）における取組内容

1. 能動型学習資源の改良 [e-learning・VPシステム・電子ポートフォリオ]
2. ITを活用した超高齢化社会に対応した歯学教育プログラムの開発
3. 教育目標の到達度の評価
4. ITを活用した歯学教育プログラムの改良

教育センターの業務

1. VPの開発、活用、改良
2. 電子ポートフォリオの開発、活用、改良と評価方法の確立
3. e-learningの開発、活用、改良
4. 超高齢社会に対応するITを活用した歯学教育プログラムの開発
5. 教育目標の到達度の評価
6. ITを活用した歯学教育プログラムの実施と改良
7. 取組の成果の発表、公開、意見聴取
8. 報告書の作成

■ 5年計画

H24 1年目	■ITを活用した教育センターの設立 教育プログラム検討委員会（月例）の設立 到達度評価検討委員会（年3回）の設立		■連携校が使用しているe-learning、VP教材、電子ポートフォリオの共有（使用法、実施状況の説明）
	■IT環境の整備 ■e-learning、VPを教諭する準備 ■電子ポートフォリオの活用準備		■WSの開催
H25 2年目	3年生に対する IT教育システムによる評価		■WSの開催 ・アンケート ・成績解析と検討 ・e-learning、VPの改良 新規開発方針
	3年生に対する IT教育システムの活用		
H26 3年目	4年生に対する IT教育システムによる評価		■WSの開催 ■3～4年生のe-learning、VPの成績検討 ■e-learning、VPの改良 ・歯学教育学会などでの発表 ・アンケートの実施
	4年生に対する IT教育システムの活用		
H27 4年目	5年生に対する IT教育システムによる評価		■WSの開催 ■3～5年生のe-learning、VPの成績検討と教育プログラムの見直し（教育効果と評価の妥当性）
	5年生に対する IT教育システムの活用		・歯学教育学会などでの発表 ・アンケートの実施
H28 5年目	6年生に対する IT教育システムの活用		・連携大学の拡大 ・プログラムの検証と改善

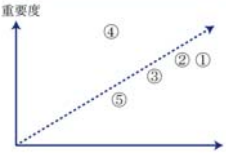
取組内容

1. 超高齢社会に必要とされる歯科医師像の把握

1. 歯科における問題点

① 在宅歯科診療の整備不足
② 教育の問題
③ 全身疾患の理解
④ コミュニケーション不足
⑤ 口腔ケアに嚥下の問題把握不足

2. 問題点の重要度・緊急度



KJ法による超高齢社会に必要な歯科医師を養成する上での歯学教育の問題点のセッション



第1回 ITを活用した教育センターワークショップで実施

---

2. IT教材の内容について



STEP 1 3年生 e-ラーニング 全身と口腔の関連についての基礎知識の修得



Active learning：受け身の講義から能動的・双方向の授業へ

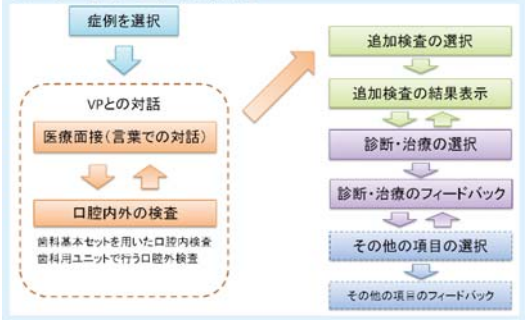
（家で） 事前学習課題 → 何の授業なのか。課題について考える

（授業で）
- 自由課題 → 学生に考えさせる
- リソース講義 → 学生の理解度を把握し、それに応じた解説講義を行う
- まとめテスト → 授業による習熟度を知る

（家で） 復習課題 → 授業後に、重要項目の知識の定着を図る

STEP 2 4年生 VPシステム コミュニケーション・臨床推論能力の養成

VP システムの流れ



VP システム 医療面接



VP システム 口腔内検査



VP システム 口腔外検査



電子ポートフォリオシステム



Step1（3 年生）
「全身がわかる歯科医師がなぜ必要か？」授業紹介

STEP 1 **3年生【授業２】**

全身がわかる歯科医師がなぜ必要か？

2014年　9月16日　2限

WG:3　担当：弘中　祥司

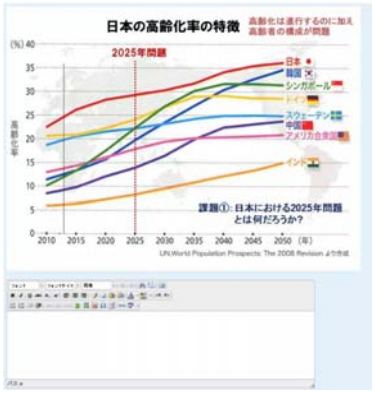
3.昭和大学歯学部3年生に対する授業計画

授業（回）（90分）	期間・内容				
	年月日	時限	学習項目	学習内容	担当
授業1	平成26年9月16日(火)	1	社会に求められる歯科医師像と口腔医学	社会のニーズが大きく変化している。社会に求められる歯科医師像を考え、口腔医学について学ぶ。	片岡 竜太 教授（歯学教育学）
授業2	平成26年9月16日(火)	2	全身がわかる歯科医師がなぜ必要か？	日本の高齢化率、将来人口推計から今後の日本の社会と医療を考える。高齢者の身体的、心理学的特徴と高頻度に見られる基礎疾患と口腔疾患を学ぶ。ビデオを通じて、歯科診療と全身状態との関連について考える。	弘中 祥司 教授（口腔衛生学）
授業3	平成26年9月30日(火)	1	脳梗塞を発症した患者から、医療の仕組みを学ぶ	脳梗塞を発症し、入院加療の後に、自宅療養中の患者の歯科受診を通して、医療・歯科医療の仕組みと連携を学ぶ。チーム医療の基本（構成メンバーと役割）および歯科が担う口腔のケアの目的を学ぶ。	弘中 祥司 教授（口腔衛生学）
授業4		2			
授業5	平成26年9月30日(火)	3	口腔乾燥症と疾患①	唾液・唾液分泌機能について、基本的事項をe-learningで学ぶ。基礎疾患を有する患者のシナリオを用いて唾液分泌に影響を与える因子とそのメカニズムについて学習する。	美島 健二 教授（口腔病理学）
授業6		4			
授業7	平成26年10月7日(火)	1	口腔乾燥症と疾患②	全身疾患、全身状態、服薬、精神状態が唾液分泌に及ぼす影響と口腔に生じる変化についてe-ラーニングやリソース授業で学ぶ。	美島 健二 教授（口腔病理学）
授業8		2			
授業9	平成26年10月14日(火)	1	口腔診察・検査実習と疾患	唾液分泌能（ガム、サクソンテスト）、口腔乾燥度、細菌数、嚥下機能、および咬合力の測定を学生相互で実施し、結果をカルテに記入する。異常値が得られた場合、原因や関係疾患についてe-learningで学ぶ。これらの検査を活用した4年生、5年生の実習についてリソース講義で学ぶ。	美島 健二 教授（口腔病理学） 田中 美一 助教（口腔病理学） 井上 富雄 教授（口腔生理学） 中村 史朗 講師（口腔生理学） 望月 文子 助教（口腔生理学） 桑田 啓貴 教授（口腔微生） 森崎 弘史 講師（口腔微生）
授業10		2			

SETP1（基礎知識の修得）の授業内容報告書

【WG:3】 **授業前　事前学習課題**（10分）

1）日本を含む世界各国の高齢化率を表すグラフから日本における2025年問題とは何かを考察する。



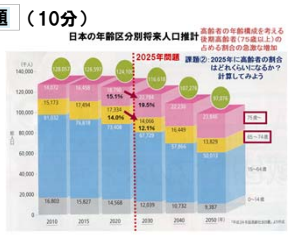
以下の項目に関して事前学習にて考察した内容を　160～200字で記載させる。

SETP1（基礎知識の修得）の授業内容報告書

【WG:3】 **授業Ⅰ　自由課題・症例課題**（10分）

以下の項目に関して事前学習にて考察した内容を160～200字で記載させる。

1）日本の年齢区分別将来人口推計を表すグラフから日本における2025年の高齢者の割合がどれくらいになるか算出し考察する。

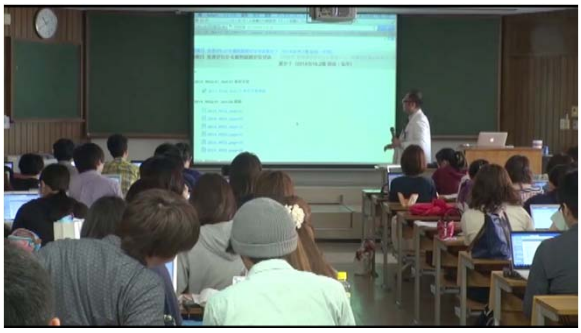


2）東京圏とその他の地域における高齢者人口増加量と増加率を表すグラフから大都市圏に高齢者が集中する理由を考察する。



文字数制限（160～200文字）

e-ラーニング



SETP1（基礎知識の修得）の授業内容報告書

【WG:3】 **授業Ⅱ　リソース講義**（　55分）

以下に示すような、日本の今後の超高齢社会における医療の体系を理解させる。
年齢階級別医療費のグラフから後期高齢者の医療費が他の階級より群をぬいて高額であることに加え、今後高齢者が増加することが必須であり、医療費が不足する。
その結果、入院診療と外来診療では需要に対応できなくなるために、他職種が協働する連携医療による在宅診療を拡充する必要がある。
そうした、在宅医療を必要とする高齢者に対して、口腔の疾病予防、健康の保持増進、リハビリテーションによりQOLの向上をめざした科学であり技術である口腔ケアが必要となる。

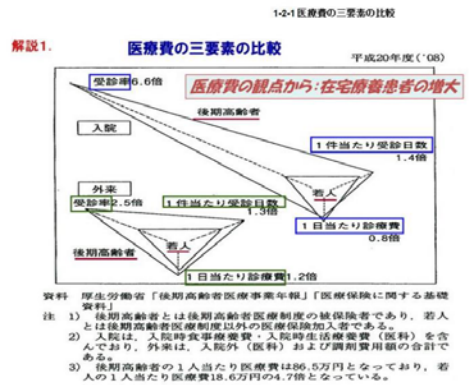
口腔ケアにより

①感染予（器質的口腔ケア）
- 口腔疾患の予防（う蝕、歯周病等）
- 呼吸器感染の予防（誤嚥性肺炎等）

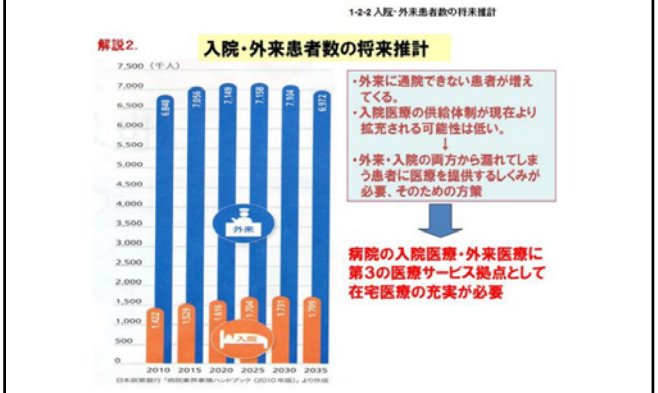
②口腔機能の維持、回復（機能的口腔ケア）
- 摂食・嚥下障害の改善
- 口腔内爽快感、口腔感覚の向上に伴う食欲の増進

③全身の健康の維持・回復及び社会性の回復（機能的口腔ケア）
- 食欲増進による体力の維持・回復
- 体力の維持・回復に伴うADL状況の向上
- 言語の明確化及び口臭の消失等によるコミュニケーションの改善

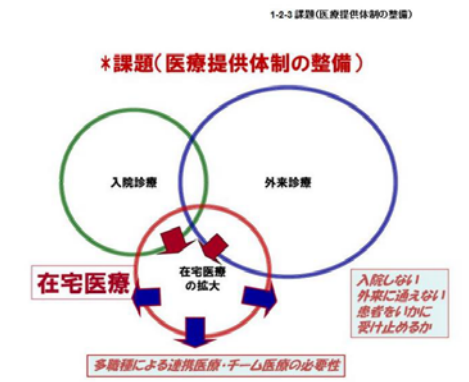
リソース講義



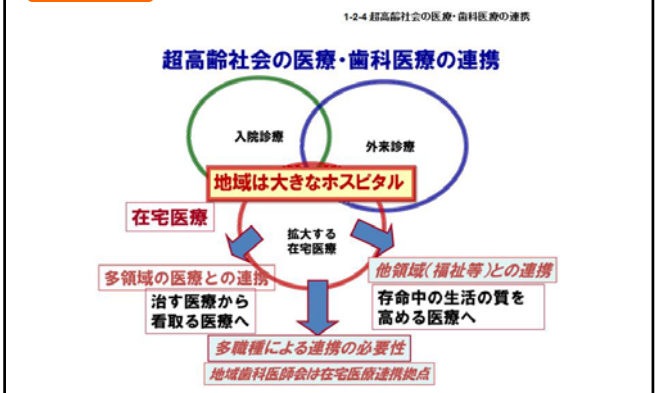
リソース講義



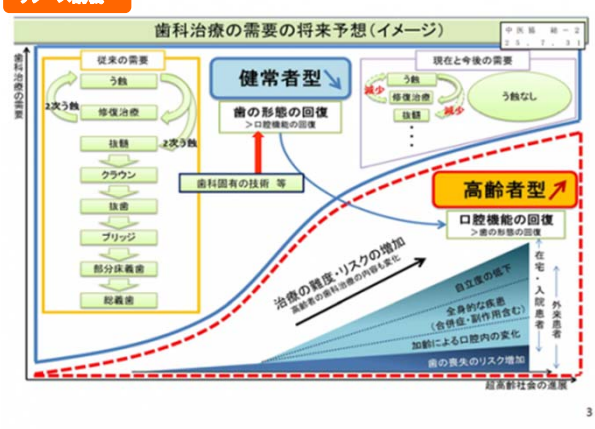
リソース講義



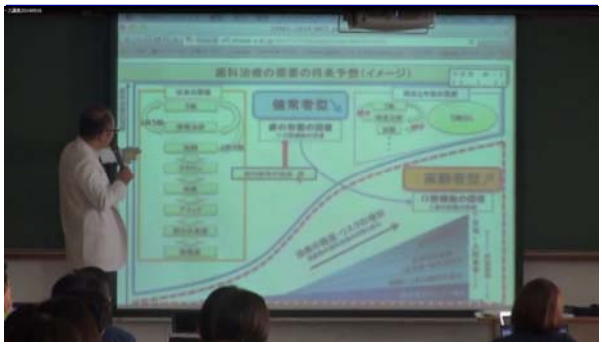
リソース講義



リソース講義



リソース講義　ビデオ



SETP1(基礎知識の修得) の授業内容報告書

【WG:3】 授業Ⅲ まとめテスト （ 5分）

98-A-104. 我が国の平成22年度国民医療費で正しいのはどれか。1つ選べ。

1つ選択してください:

- a. 歯科診療医療費が15%を占める。
- b. 65歳以上の医療費が約55%を占める。
- c. 国民所得の約30%である。
- d. 入院医療費が約60%を占める。
- e. 総額60兆円を超えている。

106-C-113 近年の我が国の国民医療費で正しいのはどれか。2つ選べ。

2つ選択してください:

- a. 減少傾向にある。
- b. 国民所得に対する割合は 20%を超えている。
- c. 財源別では「保険料」が全体の 5割を占めている。
- d. 歯科診療医療費は国民医療費の 10%を超えている。
- e. 65歳以上における1人当たりの国民医療費は 65歳未満の約4倍である。

SETP1(基礎知識の修得)・ STEP2(臨床推論能力の養成)の授業内容報告書

【WG:3】 授業後 復習課題 （10分）

2025年問題を例にして人口構成の変化が今後の我が国の(歯科)医療サービスに及ぼす影響について空欄を埋めなさい。

- 受診者に占める ＿＿＿＿ の割合の増加
- 歯科医療に対する住民のニーズに占める ＿＿＿＿ の割合の増加
- 高齢者で発症頻度の高い ＿＿＿＿ の割合の増加
- 一人で多くの疾患を抱えているため ＿＿＿＿ の割合の増加

2025年に後期高齢者の占める割合が ＿＿＿＿ %を超えるため、

- 地域 ＿＿＿＿ システムも含めて ＿＿＿＿ (歯科)医療のニーズが高まる。
- ＿＿＿＿ を有する患者が増えるため、薬剤の副作用への理解や ＿＿＿＿ 患者に対する適切な対応が求められる。
- 在宅医療の現場では多職種間の ＿＿＿＿ が必要になる。

また、在宅での看取りが増加するため、口腔機能管理の評価が重要になる。

正答率

【昭和大学】 D3

問 題	正 答 率		授業項目名
以下の高齢者の疾患を有病率(外来)の高い順に並べなさい。 歯肉炎・歯周疾患 （ ） 悪性新生物 （ ） 心疾患 （ ） 脊柱障害 （ ） 高血圧 （ ） 糖尿病 （ ）	授業前	35.2%	【授業2】 全身がわかる歯科医師がなぜ必要か？ (2014/9/16,2限 担当:弘中)
	⇓		
	授業後	50.0%	
以下の死因を死亡率の高い順に並べなさい。 結核 （ ） 肺炎 （ ） 脳血管疾患 （ ） 心疾患 （ ） 悪性新生物 （ ）	授業前	69.4%	【授業2】 全身がわかる歯科医師がなぜ必要か？ (2014/9/16,2限 担当:弘中)
	⇓		
	授業後	84.2%	

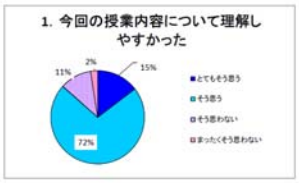
授業後アンケート

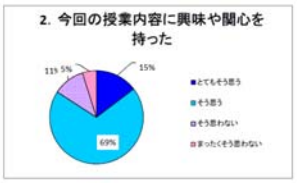


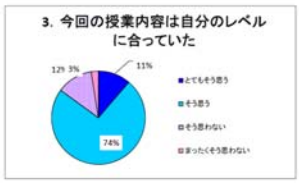
1 今回の授業内容について理解しやすかった。
2 今回の授業内容に興味や関心を持った。
3 今回の授業内容は自分のレベルに合っていた。
4 「事前学習」は授業に興味を持ち、理解するのに役立った。
5 今回の授業のe-ラーニングの設問は解答しやすかった。
6 今回の授業の解答時間は十分であった。
7 今回の授業でe-ラーニングの操作は容易であった。
8 「復習課題」があれば「復習課題」を使って復習した

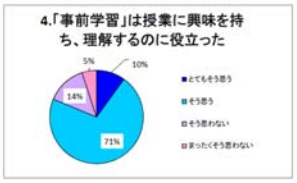
1つ選択してください:
1. まったくそう思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. とてもそう思う

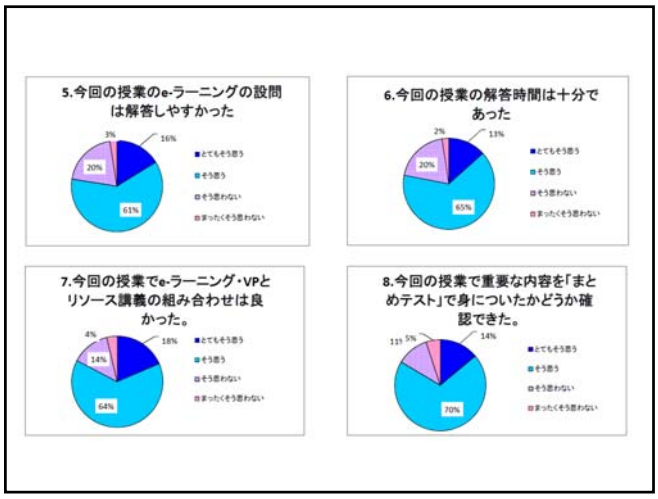
昭和大学3年生チーム医療と口腔医学Ⅰ IT連携授業アンケート
学習項目:全身がわかる歯科医師がなぜ必要か？
実施日:平成26年9月16日 2限 （担当:弘中）

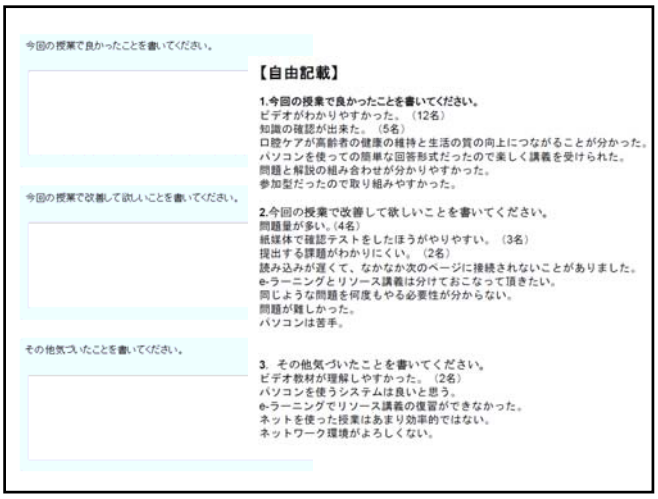









5.今回の授業のe-ラーニングの設問は解答しやすかった
3%
16%
20%
61%
とてもそう思う
そう思う
そう思わない
まったくそう思わない
6.今回の授業の解答時間は十分であった
2%
13%
20%
65%
とてもそう思う
そう思う
そう思わない
まったくそう思わない
7.今回の授業でe-ラーニング・VPとリソース講義の組み合わせは良かった。
4%
18%
14%
64%
とてもそう思う
そう思う
そう思わない
まったくそう思わない
8.今回の授業で重要な内容を「まとめテスト」で身についたかどうか確認できた。
11%
5%
14%
70%
とてもそう思う
そう思う
そう思わない
まったくそう思わない


今回の授業で良かったことを書いてください。
今回の授業で改善して欲しいことを書いてください。
その他気づいたことを書いてください。
【自由記載】
1.今回の授業で良かったことを書いてください。
ビデオがわかりやすかった。（12名）
知識の確認が出来た。（5名）
口腔ケアが高齢者の健康の維持と生活の質の向上につながることが分かった。
パソコンを使っての簡単な回答形式だったので楽しく講義を受けられた。
問題と解説の組み合わせが分かりやすかった。
参加型だったので取り組みやすかった。
2.今回の授業で改善して欲しいことを書いてください。
問題量が多い。(4名)
紙媒体で確認テストをしたほうがやりやすい。（3名）
提出する課題がわかりにくい。（2名）
読み込みが遅くて、なかなか次のページに接続されないことがありました。
e-ラーニングとリソース講義は分けておこなって頂きたい。
同じような問題を何度もやる必要性が分からない。
問題が難しかった。
パソコンは苦手。
3. その他気づいたことを書いてください。
ビデオ教材が理解しやすかった。（2名）
パソコンを使うシステムは良いと思う。
e-ラーニングでリソース講義の復習ができなかった。
ネットを使った授業はあまり効率的ではない。
ネットワーク環境がよろしくない。

Step2（4 年生）
「口腔乾燥を訴える患者に対する医療面接･口腔乾燥症の症状と診断」授業紹介

STEP 2 **４年生【授業4・5】**

口腔乾燥を訴える患者に対する
医療面接・口腔乾燥症の症状と診断

2014年　10月7日　3-4限

WG: 1　担当：美島 健二　鎌谷 宇明

昭和大学歯学部4年生に対する授業計画

授業（回）（90分）	期間・内容				
	年月日	時限	学習項目	学習内容	担当
授業1	平成26年 9月2日(火)	2	オリエンテーション	VPの使い方を修得する	片岡 竜太 教授（歯学教育学）
授業2	平成26年 9月30日(火)	3	歯科診療と全身疾患	本U ニットの目的を理解する。基礎疾患と歯科診療との関連についてe-ラーニングなどで学ぶ。	片岡 竜太 教授（歯学教育学）
授業3		4	チーム医療と口腔内科	チーム医療を行うにあたり、口腔内科的な知識がどのように必要であるかを理解する。	片岡 竜太 教授（歯学教育学）
授業4	平成26年 10月7日(火)	3	口腔乾燥を訴える患者に対する医療面接	口腔乾燥を訴える患者の鑑別診断についてe-ラーニングで学ぶ。口腔乾燥を訴える患者に対して医療面接で聞く内容について、VPやe-ラーニングで学ぶ。	美島 健二 教授（口腔病理学）
授業5		4			
授業6	平成26年 10月14日(火)	3	口腔乾燥症に対するケア	口腔乾燥が見られる患者に対する口腔のケアについて学ぶ。	美島 健二 教授（口腔病理学）
授業7		4			
授業8	平成26年 10月21日(火)	3	チーム医療における歯科医師の役割（急性期）	脳梗塞などの疾患に罹患した患者に対して入院中に行うチーム医療の実際について、VPやe-ラーニングで学ぶ。	弘中 祥司 教授（口腔衛生学）
授業9		4	チーム医療における歯科医師の役割（回復期）	脳梗塞などの疾患に罹患した患者に対して退院後に行う地域連携医療の実際について、VPやe-ラーニングで学ぶ。	弘中 祥司 教授（口腔衛生学）

全体の流れ

口腔乾燥症の原因の復習（事前学習；15分）
↓
シナリオおよびビデオを用いた演習（30分）
（ストレス性の口腔乾燥症症例）
↓
リソース講義（40分）
↓
VPを用いた医療面接演習（20分）
↓
リソース講義（口腔乾燥症の症状・診断を含む）40分
e-learningによる演習（20分）
↓
まとめテスト（○×、穴埋め）

STEP2（臨床推論能力の養成）授業内容報告書

【WG:1】　授業前　事前学習課題　（15分）

自由記載

口腔乾燥症を起こす薬剤について調べなさい（自由記載）

STEP2（臨床推論能力の養成）授業内容報告書

【WG:1】　授業Ⅰ　自由課題・症例課題　（20分）

該当するものをチェックして下さい。

- □ 口が渇くことが多い（唾液が少ない）
- □ 口が渇いて話しにくい
- □ 食事の時に飲み物が必要
- □ 夜間、水を飲むために起きる
- □ 舌がひび割れやすく、口角炎を起こしやすい
- □ 虫歯や歯周病になりやすい

チェック項目に一つでも該当があればあなたはドライマウスの可能性があります。

本邦におけるドライマスの患者さんの数はどれぐらいいると思いますか？
注）全角数字のみを入力すること。

- ○ 推　定（気付いている人）：　万人　800万人
- ○ 潜在的（気付いてない人）：　万人　3,000万人

唾液が減少するとどうなりますか？（50文字以内）　（5分）

自由記載（50字）

採点は必要ないです

口が渇く症状のことを何といいますか？

解答：

口腔乾燥症（ドライマウス）

口が渇く原因には何がありますか？

1. 薬剤の服用
   抗 ヒスタミン 、睡眠薬 、向 精神薬 、
   降圧薬 など
2. 疾患
   糖尿病 、シェーグレン 症候群、GVHD 、
   腎疾患
3. 脱 水
4. 口 呼吸

箇条書きで1-4を記入しておく

緊張すると口が渇くのはなぜですか？

- 理由） 交感 神経優位になり唾液が粘稠になるから

高血圧の薬で口が渇くのはなぜですか？

- 理由①）唾液分泌に必要な カルシウム を介するシグナルを抑制するから
- 理由②）利尿薬；脱水による 視床下部 の口渇中枢の刺激

腎臓病で口が渇くのはなぜですか？

- 理由）脱水による視床下部の 口渇中枢 の刺激

糖尿病で口が渇くのはなぜですか？

- 理由）脱水による 視床下部 の口渇中枢の刺激

次の口腔乾燥症患者さんについての記述をよく読んでそれぞれの質問に答えなさい。

症　例

52歳、女性のBさんは、認知症の母親の面倒をみるために最近仕事を休みがちです。先日も、自宅から少し離れた交番から、母親が保護されているのですぐに迎えに来るようにと連絡がありました。Bさんは母親と二人暮らしで、妹もいるのですが、結婚して遠くの町で生活しているため母親の面倒はBさんがみるしかありません。

Bさんは、常に緊張した状態で、夜もなかなか眠れなく疲れがたまった状態です。

最近は口の渇きがひどく、ペットボトルを手放すことができません。

問診ビデオ



唾液量の測定　・安静時唾液　1.5ml/15分
・刺激時唾液　11ml/10分

この患者さんの唾液量は正常？

安静時唾液は？ 答え：正常　　刺激時唾液は？ 答え：正常

安静時・刺激時唾液共に減っていないのにどうして口が渇くのかあるの？括弧を埋めよ

答え
B子さんは認知症の母親の介護のため強い（　　）状態にある。また、いつ呼び出されるかわからないので常に（　　）状態にあり（　　）神経有意の状態が持続的に続いているため。

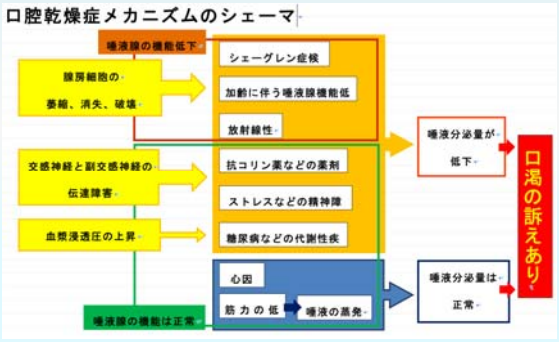
唾液量が正常なのに口が渇く原因は？
3っつあげよ

解答：

- （　　）による
- 過度の（　　）による
- （　　）呼吸による

【WG:1】 授業Ⅱ リソース講義 （60分）

下記の図をみて口腔乾燥症の**メカニズム**を説明せよ？



【WG:1】 授業Ⅱ リソース講義 （60分）

唾液量の測定法 には下記の3つの方法があります。



①安静時唾液量

無刺激下で唾液を15分間集める：

1.5ml以上で正常

②ガムテスト（刺激時唾液量）

無味無臭のガムを10分噛んだ間に排出される唾液量を測定

10ml以上で正常

②サクソンテスト

ガーゼを口に含み一定のリズムで2分間噛む

↓

ガーゼの重量を測定： 2g以上だと正常

【WG:1】 授業Ⅱ リソース講義 （60分）

口腔乾燥症患者国内推定800万人

うつ病(500万人)＋うつ状態 1200万人
糖尿病 1000万人
橋本病 400万人
社会不安障害 300万人
間接リウマチ 70万人
シェーグレン症候群 50万人
肝硬変 患者 25万人
腎不全患者 20万人

薬を飲んでいる人無限

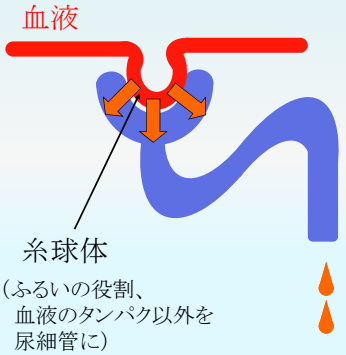
【WG:1】 授業Ⅱ リソース講義 （60分）

口腔乾燥症の原因

先天性異常	無形成	
体液・電解質異常	水摂取不足、嘔吐、下痢、	
医原性	薬剤	抗ヒスタミン、睡眠薬、精神安定剤、降圧剤、副交感神経遮断薬
	放射線照射	
	化学療法	
全身性疾患	シェーグレン症候群、糖尿病、尿崩症、サルコイドーシス、HIV感染、GVHD、神経性障害	
局所因子	咀嚼減少、喫煙、口呼吸	

【WG:1】 授業Ⅱ リソース講義 （60分）

ネフローゼ症候群



（ふるいの役割、
血液のタンパク以外を
尿細管に）

糸球体のふるいの目が
粗くなってしまう

↓

血中からタンパクが
出てしまう

↓

尿タンパク↑

血中タンパク↓

問題演習（採点有り）

口腔乾燥症で正しいのは○、誤っているのは×をつけなさい。（プレテスト、e-learningで採点）

（O）唾液の減少が口臭の原因となることがある。
（X）唾液が減少しても、う蝕が増加することはない。
（X）服薬が口腔乾燥の原因となることはない。
（O）糖尿病では口が渇くことがある。
（X）腎不全では口が渇くことはない。
（O）高血圧の薬では口腔乾燥になることがある。
（O）唾液の減少は味覚異常の原因となる。
（O）唾液の減少が口臭の原因となることがある。
（O）飲酒は口が渇く原因になりうる。
（O）加齢は口が渇く原因となる。
（O）口呼吸は口が渇く原因となる。
（O）緊張すると口が渇くことがある。
（X）口腔乾燥と口内炎は関係がない。
（O）口腔乾燥は高齢者の肺炎の原因となりうる。
（O）口腔乾燥では舌がひび割れることがある。

リソース講義



VPを用いた医療面接演習（20分）

Sjogren症候群を対象にしたVP （20分）



VPを用いた医療面接演習（20分）





【WG:1】 授業Ⅱ リソース講義 （30分）

口腔乾燥症による口腔内症状（パワーポイントによる説明）

- 濃厚、泡状の唾液
- 糸状乳頭の萎縮、溝状舌
- 咀嚼、嚥下障害
- カンジダ症
- う 蝕

口腔乾燥症に伴う舌病変


白 苔


黒毛舌


溝状舌


平滑舌

口腔カンジダ症


舌は平滑で所々に発赤をみる


義歯床下粘膜にも発赤をみる


口角部に発赤をみる


白色の偽膜形成をみる（急性）

唾液がなくなると口の中はどうなると思いますか？

- 歯は？
  - う蝕
- 粘膜は？
  - 乾燥 しかさかさになる。
  - 粘膜が剥離し 発赤 を伴う。
- 衛生状態は？
  - 唾液の 抗菌物質 がなくなるため 口腔内細菌 の繁殖により悪化する。
  - 洗浄作用がなくなり 食物残渣 が付着し悪化する。
- 飲み込みやすさは？
  - 唾液の 食塊形成 作用が期待できず、飲み込みにくくなる。

【WG:1】 授業Ⅲ まとめテスト （10分）

口腔乾燥の原因には何がありますか？括弧を埋めよ。

抗 ＿＿＿＿ 薬、降圧薬、向精神薬の服用など薬剤性の口腔乾燥症が増加傾向にある。また、頭頸部癌の治療のための ＿＿＿＿ 照射も重篤な唾液分泌障害の原因となることが知られ、疾患では、主に唾液腺局所にみられるシェーグレン症候群、全身性疾患として ＿＿＿＿ 病や ＿＿＿＿ 疾患などがあげられる。

これらに加えて、高齢者の睡眠時の ＿＿＿＿ による唾液の蒸散も重要な要因となりうる。

【WG:1】
授業Ⅲ
まとめテスト
（10分）

口腔乾燥症で正しいのは○、誤っているのは×をつけなさい。

○	唾液が減少しても、う蝕が増加することはない。
×	服薬が口腔乾燥の原因となることはない。
×	糖尿病では口が渇くことがある。
○	腎不全では口が渇くことはない。
×	高血圧の薬では口腔乾燥になることがある。
○	唾液の減少は味覚異常の原因となる。
○	唾液の減少が口臭の原因となることがある。
○	飲酒は口が渇く原因になりうる。
○	加齢は口が渇く原因となる。
○	口呼吸は口が渇く原因となる。
○	緊張すると口が渇くことがある。
×	口腔乾燥と口内炎は関係がない。
○	口腔乾燥は高齢者の肺炎の原因となりうる。
○	口腔乾燥では舌がひび割れることがある。

【WG:1】 授業Ⅲ まとめテスト （10分）

① 抗 ＿＿＿＿ 薬、睡眠薬、向 ＿＿＿＿ 薬は、薬剤性口腔乾燥症の原因となりうる。

② 緊張すると、 ＿＿＿＿ 優位になり、唾液が粘稠になることによって口渇をまねく。

③ 頭頸部癌に対する ＿＿＿＿ 治療は、重篤な唾液分泌障害の原因となる。

④ 脱水による視床下部の ＿＿＿＿ の刺激で口渇をまねく。

⑤ ＿＿＿＿ 呼吸は唾液を ＿＿＿＿ させる。

⑥ ＿＿＿＿ 病、 ＿＿＿＿ 症候群は、口腔乾燥症を併発する。

⑦ ＿＿＿＿ 疾患は口渇をまねく。

正答率

【昭和大学】D4

問題	正答率		授業項目名
安静時唾液【正常値：(①)ml/15分以上】および刺激時唾液【正常値：ガムテスト(②)ml/10分以上、サクソンテスト(③)g/2分以上】が正常であるにもかかわらずロが乾く原因として、(④)や(⑤)がある。このうち前者では、これが強くなることで過度の(⑥)状態となって(⑦)神経優位の状態が持続してしまう結果、唾液が(⑧)状態となり口腔乾燥感を訴える。いっぽう後者では、唾液が(⑨)することで口腔乾燥感が生じるが、特に高齢者の(⑩)の患者に多い。 ①( ) ②( ) ③( ) ④( ) ⑤( ) ⑥( ) ⑦( ) ⑧( ) ⑨( ) ⑩( )	授業	53.6%	【授業3,4】 口腔乾燥を訴える患者に対する医療面接・口腔乾燥症の症状と診断 （2014/10/7, 3-4限 担当：美島，鎌谷）
	⇓		
	授業後	63.1%	【授業3,4】 口腔乾燥を訴える患者に対する医療面接・口腔乾燥症の症状と診断 （2014/10/7, 3-4限 担当：美島，鎌谷）

授業後アンケート



昭和大学４年生チーム医療と口腔医学Ⅱ　IT連携授業アンケート
学習項目：口腔乾燥を訴える患者に対する医療面接・口腔乾燥症の症状と診断
実施日：平成26年10月7日3, 4限（担当：美島、鎌谷）

1 今回の授業内容について理解しやすかった。

1つ選択してください:
- 1. まったくそう思わない
- 2. そう思わない
- 3. そう思う
- 4. とてもそう思う

2 今回の授業内容に興味や関心を持った。

1つ選択してください:
- 1. まったくそう思わない
- 2. そう思わない
- 3. そう思う
- 4. とてもそう思う

3 今回の授業内容は自分のレベルに合っていた。

1つ選択してください:
- 1. まったくそう思わない
- 2. そう思わない
- 3. そう思う
- 4. とてもそう思う

4 「事前学習」は授業に興味を持ち、理解するのに役立った。

1つ選択してください:
- 1. まったくそう思わない
- 2. そう思わない
- 3. そう思う
- 4. とてもそう思う

5 今回の授業のe-ラーニング教材の設問は解答しやすかった。

1つ選択してください:
- 1. まったくそう思わない
- 2. そう思わない
- 3. そう思う
- 4. とてもそう思う

6 今回の授業の解答時間は十分であった。

1つ選択してください:
- 1. まったくそう思わない
- 2. そう思わない
- 3. そう思う
- 4. とてもそう思う

7 今回の授業でe-ラーニング・VPとリソース講義の組み合わせは良かった。

1つ選択してください:
- 1. まったくそう思わない
- 2. そう思わない
- 3. そう思う
- 4. とてもそう思う

8 今回の授業で重要な内容を「まとめテスト」で身についたかどうか確認できた。

1つ選択してください:
- 1. まったくそう思わない
- 2. そう思わない
- 3. そう思う
- 4. とてもそう思う

9 今回の授業でVPの操作は容易であった。

1つ選択してください:
- 1. まったくそう思わない
- 2. そう思わない
- 3. そう思う
- 4. とてもそう思う

10 VPを用いた授業は基礎的な知識をどのように臨床へ応用するか理解するのに役立った。

1つ選択してください:
- 1. まったくそう思わない
- 2. そう思わない
- 3. そう思う
- 4. とてもそう思う

11 「復習課題」があれば「復習課題」を使って復習したい。

1つ選択してください:
- 1. まったくそう思わない
- 2. そう思わない
- 3. そう思う
- 4. とてもそう思う

昭和大学４年生チーム医療と口腔医学Ⅱ　IT連携授業アンケート
学習項目：口腔乾燥を訴える患者に対する医療面接・口腔乾燥症の症状と診断
実施日：平成26年10月7日3, 4限（担当：美島、鎌谷）





